

2022年
月間通信

～がん患者の居場所～ 認定NPO法人 がんとむきあう会

5月の元ちゃんハウス

【特別な火曜日】

がん患者さんの間でよく言われる、糖質制限、アルカリ性食品、プロテインの効果は実際どうなの？乳がん患者さんに牛乳や大豆は？などの質問があり、当会管理栄養士が答えました。正しい知識が必要です。また別の乳がん患者さんからは、ホルモン治療中の子宮がん検査について質問がありました。検査は怖いけれど、早期発見のためには今の検査のあり方でいいのかという心配は、どのがん種の患者さんも共通です。金沢大学附属病院と金沢医療センターの看護師さんに、病院の現状を聞きました。不正出血があれば、すぐ医師に言うのが大事とのこと。サロンを運営している利用者さんに看護さんからの質問もあり、双方のまなびの場でした。最後はルーシーダットンでまったりしました。



【もくれんの会】

ご遺族の皆様の悲しみは癒えませんが、お互いを気遣い、声掛けし合って繋がりや相談の場を作ったり、地元の病院でピアサポーターをされたりと、自発的に支援する立場になっていらっしゃいました。もくれんの会はつらい気持ちを共有する場であるとともに、遺族支援をするときの戸惑いや、疑問を共有する学びの場にもなっています。



【ファンミーティング】

いつも元ちゃんハウスを応援してくださる方々にオンラインでお集まりいただき、感謝を伝える会を開催しました。理事長とスタッフから、昨年度の報告と今年の抱負を語りました。参加者からは、「スタッフの皆さんがいるから、帰省したとき寄りたくなる」（県外医師）、「ここがあって良かった。心配な気持ちを受け止めてくれる」（がん患者）、「遺族だけで気持ちを分かち合える場があって良かった」（遺族）、「石川県に元ちゃんハウスがあることを誇りに思う」（医師）、「月に1回はここに医学部の学生が集まり、お手伝いをしながら学びたい」（医学部生）などの声をいただきました。私どもが感謝を伝える日ですが、反対にあたかなエールをいただき、元氣とやる気をもらいました。ご期待に応えられるよう、これからも頑張ります！元ちゃんハウスは“場”です。皆様の思うように使っていただきたいと願っています。



【頭頸部がん患者会】

入院中に食事が食べられなかった体験を話しながら、いま美味しく食べられるのが有難いと、金沢や富山のグルメ情報交換に花がさきました。口腔ケアとして、唾液分泌の低下による口渇に効果的な、唾液腺マッサージを教え合いました。県外からのZOOM参加者もあり、その方の呼びかけで、三重のリレー・フォー・ライフの協力を繋がりました。患者会の方とスタッフが一緒にルミナリエバックを描いて送りました。

